

母子保健・予防接種

☎ 子ども家庭課 ☎56-0210

内容(予は要予約)	とき	対象(対は対象)
親子健康手帳交付	10日(木) 13:30集合 23日(水) 10:00集合	妊婦
予パパママ教室(1回目) ※定員9組	15日(火) 10:00開始～11:00終了予定	主に妊娠6か月頃までの初妊婦とそのパートナー
予パパママ教室(2回目) ※定員 平日6組 土日9組	13日(日) 9:15受付～11:30終了 23日(水) 13:15受付～15:30終了	主に妊娠7か月以降の初妊婦とそのパートナー ※3日前までに予約がない場合は中止
妊婦訪問	訪問は予約制です。(希望者は子ども家庭課へ連絡してください)	妊婦(訪問は妊娠中1回)
こんにちは赤ちゃん訪問	3～4か月児健診受診前	すべての赤ちゃんとその保護者
のびのび 計測日 ^{※1}	保健センター 3日(木) 10:00～10:30受付 青少年児童センター 14日(月)	未就園児 ^{※1} 医師の診察はありません ※親子(母子)健康手帳・乳児の場合はバスタオル
妊産婦産科健康診査	予約してから、市内委託医療機関で受診してください	妊婦と産後1年未満の産婦
予ロタウイルス	対 1価ワクチン 出生6～24週 5価ワクチン 出生6～32週	
予B型肝炎	対 生後1歳未満	
予ヒブ、小児用肺炎球菌	対 生後2～60月に至るまで	
予4種混合、5種混合	対 生後2～90月未満	
予BCG	対 生後1歳未満	
予麻しん・風しん混合(MR)	対 第1期 生後12～24月未満 第2期 小学校入学前の1年間	
予水痘	対 生後12～36月未満	
予日本脳炎	対 1期 生後6～90月未満、2期 9～13歳未満 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり	
予2種混合	対 11～13歳未満	
予HPV 2価・4価・9価	対 小学6年生～高校1年生の女子 ※1997～2008年度生まれで、2022年4月1日～2025年3月31日に1回以上接種し、接種完了していない女子(キャッチアップ接種経過措置)	

成人保健・予防接種

☎ 保険医療課 ☎56-0821 健康推進課 ☎63-3300

予特定健康診査 がん検診(肺・胃・大腸・前立腺)	8日(火)、17日(木)、25日(金)、30日(水)	市国民健康保険加入者で40～74歳の人(検診によって対象制限あり)
予集団がん検診 (肺・胃・大腸・前立腺)	2日(水)、7日(月)、11日(金)、26日(土)	市国民健康保険加入者以外で40～74歳の人(検診によって対象制限あり)
予個別特定健康診査	10月31日までに市内委託医療機関で受診してください。※胃内視鏡検診のみ、一部医療機関で12月まで受診可。	市国民健康保険加入者で40～74歳の人 後期高齢者医療制度加入者
予後期高齢者医療健康診査		
予個別がん検診※ (肺・胃・大腸・前立腺)		40歳以上の人(検診によって制限あり)
予帯状疱疹	対 2025年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳となる人、100歳以上の人または60～64歳のヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがある人	
予高齢者肺炎球菌	対 65歳の人または60～64歳で心臓・腎臓・呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがある人	

<任意予防接種助成> 風しんワクチン、帯状疱疹ワクチンの接種費用の一部を助成します(対象者に限る)。

その他お知らせ

納期限(7月31日)

税 目	納 期	問 合 先
固定資産税・都市計画税	第2期	収納課 ☎56-0610
国民健康保険税	第1期	
後期高齢者医療保険料	第1期	保険医療課 ☎56-0617

口座振替の人は、納期限の日引き落とししますので、前日までに残高を確認してください。

日曜・祝日の受診は

東名古屋医師会休日急病診療所

☎0561-73-7555

診療日時	日曜・祝日・年末年始 9:00～16:30 (昼休憩1時間あり)
診療科目	内科・小児科
所在地	日進市蟹甲町中島22

急な病気・ケガの時は

救急医療情報センター

☎0561-82-1133

24時間365日対応可。症状に応じてその時診療できる最寄りの医療機関を案内。

愛知医科大学病院 時間外診療

救急でかかりつけ医が開いていない場合、診療を受けることができます。まず、電話で相談してください。
☎0561-62-3311(代表)

なお、時間内、時間外問わず、紹介状なしで受診する等の場合、選定療養費が必要になることがあります。詳しくは愛知医科大学病院へお問い合わせください。

まちの保健師

保健師がさまざまな場所に出向き、健康相談をお受けします。詳細は市HPへ。

ドクターからあなたへ

痔は国民病ともいわれ、日本人の3人に1人は痔主だといわれています。痔の治療と予防の8か条があります。

- (1) 毎日お風呂に入りましょう(お風呂に入るとからだは温まり、血行が良くなります。また清潔になります。)
- (2) おしりはいつも清潔にしましょう(おしりを汚くしておくと細菌が繁殖し、かゆくなったり炎症を起こしたりします。)
- (3) 便秘・下痢をしないようにしましょう(便秘をすると硬い便がたまって、肛門を傷つけることがあります。下痢は肛門を刺激し不潔にもなり、細菌感染を起こしやすくなります。)
- (4) トイレで強くいきまないようにしましょう(排便のときに強く

痔の治療と予防 こせんじょう通あんどうクリニック 安藤英也

いきむと、肛門のうっ血や出血をきたすことがあります。)

- (5) 腰を冷やさないようにしましょう(腰を冷やすと肛門の血行が悪くなります。)
- (6) 長時間同じ姿勢を続けないようにしましょう(座りっぱなしや立ちっぱなしでいると、肛門のうっ血をきたすことがあります。)
- (7) 酒、胡椒などの刺激物は控えめにしましょう(アルコール類、胡椒などは肛門を刺激し、うっ血をきたします。)
- (8) 医師の診断を受け、正しく治療しましょう(正しい診断を付けてもらうことが、痔の治療の第一歩です。)